

講演会 講師プロフィール

優先順位	氏名	現職	経歴	備考
1	下地 一明	富山クラウジーズ アシスタントコーチ	以下参照	決定



【生年月日】 1976年12月4日生まれ

◆中学時代

- ・中学入学時、177cmあり、上級生の勧めでバスケットボールを始める。
- ・中学2年時：186cm、3年時：191cmでジュニアオールスターの沖縄県代表に選出

◆高校時代

- ・沖縄の強豪「北谷(ちゃたん)高校」に進学
- ・高校時代は名将「安里先生」のもと、朝6時30分～(2時間)、16時～夜遅くまで練習に取り組む
- ・安里先生より、自分で考えられる人間に成長してほしいという思いから、「練習の反省と課題」を練習ノートに書く
- ・高校3年時はインターハイ、ウインターカップへの出場はできなかったが、沖縄県の少年国体メンバーとして全国ベスト4の原動力となる。
- ・全日本ジュニアの選出され、アジア大会(マニラ)に出場

◆大学時代

- ・関東の名門「中央大学」に進学
- ・1年次から中心メンバーとして活躍
- ・3年次、関東リーグで得点ランキング1位であったが、試合中に胸の痛みを訴え、慶応義塾大学病院に搬送され、マルファン症候群に起因する解離性大動脈瘤と診断され、緊急手術を行うこととなる。リーグ戦残り3試合を残して選手としての引退を余儀なくされる。

・コーチとして、元全日本選手の「石坂秀一」「伊藤俊亮」を指導

◆実業団・プロコーチ時代

- ・一般社員として、「OSG」に入社。
- ・入社3年目に競技生活に復帰したが2回目の大動脈瘤を発症し引退
- ・2003年全日本男子バスケットボールチームのアシスタントに就任
- ・日本代表のコーチの任期を終えた後、新潟アルビレックスBBのコーチに就任
- ・2006年11月、遠征先の所沢で3回目の大動脈瘤を発症し、緊急手術を行う。昏睡状態が続き、1か月後に意識を取り戻す。
- ・後遺症により、辛うじて首と手の指しか動かない状態となる
- ・そこから自暴自棄となるが、選手やコーチ陣からの熱いエールやスクールの子供達や父兄からのメッセージカードや1万8千羽の折鶴が贈られ、心が動く。
- ・その日より、1万8千回/日足を動かすことを目標にリハビリを始める。
- ・4日後、足首が動き、4か月後のシーズンホーム最終戦で、セレモニーが行われ、自分の足で歩き、ファンの前に登場する。

2011年 富山グラウジーズHC、2014年 埼玉ブロンコスHCを得て、bjリーグが運営する年少者向けバスケットボール教室「bjアカデミー」のヘッドコーチとして、多くの子供たちを指導

2017年 B1リーグの富山グラウジーズのアシスタントコーチとして復帰し、チームの1部残留に貢献

2016年9月15日、奇跡のバスケットボールコーチとして、アンビリバーボーイに出演

【指導者経歴】

- 2001-2002 OSGフェニックス アシスタントコーチ
- 2003 男子日本代表 アシスタントコーチ
- 2004-2006 新潟アルビレックスBBA2
- 2006-2009 新潟アルビレックスBB アシスタントコーチ
- 2011-2012 富山グラウジーズ ヘッドコーチ
- 2014-2015 埼玉ブロンコス ヘッドコーチ
- 2017.3～ 富山グラウジーズ アシスタントコーチ